

MI_2202: iCombi Pro / iCombi Classic 電気式のエネルギー最適化



iCombi Pro / iCombi Classic 電気式



30分



標準



2025/06/11

テーマ

ここでは、iCombi Pro / iCombi Classic 電気式のエネルギー最適化の改造についてご説明します。

対象となる製品/アクセサリー

iCombi Pro / iCombi Classic 電気式

- 6-2/3
- 6-1/1
- 6-2/1
- 10-1/1
- 10-2/1
- 20-1/1
- 20-2/1

必要な工具

- 標準

必要となるコンポーネント

- 6-2/3

キット: 87.01.923S には、以下の部品が含まれます。

コンポーネント	品番
IOモジュール拡張、Energie_opt.	42.00.324P
ケーブル A10-A18	40.06.852
ケーブル A10-A18	40.06.853
ケーブルセット Sico. (補助スイッチ付き)	40.07.644
ボード保持クリップ	40.03.756
保護接地端子 WKFN4D1/2/SL/35	40.07.046

- 6-1/1、6-2/110-1/1、10-2/1
キット: 87.01.924S には、以下の部品が含まれます。

コンポーネント	品番
IOモジュール拡張、Energie_opt.	42.00.324
ケーブル A10-3xAxx	40.06.849
ケーブル A10-2xAxx	40.06.850
ケーブル A10-1xAxx	40.06.854
ケーブルセット Sico. (補助スイッチ付き)	40.07.642
ボード保持クリップ	40.03.756

- 20-1/1 - 20-2/1
キット: 87.01.925S には、以下の部品が含まれます。

コンポーネント	品番
IOモジュール拡張、Energie_opt.	42.00.324P
ケーブル A10-3xAxx	40.06.849
ケーブル A10-2xAxx	40.06.850
ケーブル A10-1xAxx	40.06.854
ケーブルセット Sico. (補助スイッチ付き)	40.07.643
ボード保持クリップ	40.03.756
アース端子 WKFN 4 SL/35	40.04.638

一般情報

この情報「 MI_2202 : エネルギー最適化 - iCombi Pro-Classic」は、以下の改修マニュアルの代わりとなります。

- MI_2076
- MI_2110
- MI_2117
- MI_2118
- MI_2119
- MI_2120

ターゲットグループ

- 本書は、トレーニングコースおよび安全に関する指導を受け、メーカーから認定と研修を受けた技術者を対象としています。
- 設置、検査、メンテナンスおよび修理作業は、規定のトレーニングを受けた技術者のみが実施できます。
- 点検、メンテナンス、修理は、メーカーから認定された技術者だけが行うことをお勧めします。
- お子様はユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ユニットは、遊ぶために使用しないでください。これは、監視のもとであっても許可されません。
- 身体的、視聴覚的、あるいは精神的な障害のある人、または経験あるいは知識が不十分な人は、ユニットを使用、洗浄、メンテナンスすることはできません。ただし、このグループの人々が、安全に関する責任者によって監督され、この装置の危険性を認識させられている場合は、この限りではありません。
- 事故の危険や物的損害を防止するため、メーカーは技術者が定期的にトレーニングや安全説明会に参加することを推奨しています。

安全上の指示

⚠ 危険

高圧電源に接続する場合

高電圧を扱う際には人命の危険が生じるおそれがあります。

- 電源との接続を切ってください。
- 誤って再起動しないようにしてください。
- ユニットに通電されていないことを確認してください。

⚠ ご注意

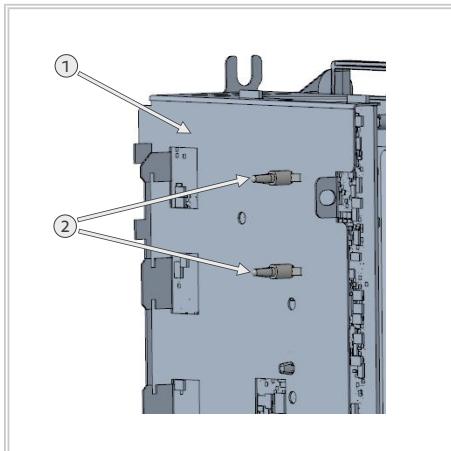
本体の鋭いエッジ

作業の際に、ユニット内のボディーの鋭いエッジで切り傷を負うおそれがあります。

保護用手袋を用いてください。

作業手順：改造 - エネルギー最適化

- ✓ ユニットが非通電状態で、電装部が開けられている。
 - ✓ 6-2/3：操作パネルを追加で開く必要があります。
1. I/Oモジュールホルダー（1）の背面に2つのボード保持クリップ（2）を差し込みます。

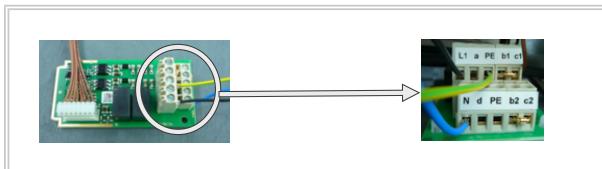


2. ケーブルをエネルギー最適化ボードに接続します。

L1 = 黒

N = 青

PE = 黄・緑

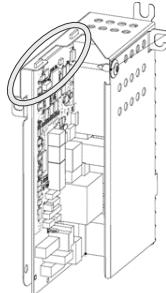


3. 「ケーブルセット Sico. (補助スイッチ付き)」のケーブルをI/Oボード(X76)に接続します。茶色のケーブルも同様にI/Oボード(X29)に接続します。

6-2/3：ケーブルはすでに所定のスロットにあります。これは新しいもの

と交換することが求められます。

注記: 6-2/3では、I/Oボードは180°回転して取り付けられています。そのため、所定のスロットはI/Oボードの下端にあります。



4. 補助接点をコンタクタに接続します。



5. 注記：アース接続には様々な方法があります。

6-2/3：現在取り付けられている保護接地端子は3連保護接地端子と交換してください。続いて保護接地線（PE）を接続します。

6-1/1、6-2/1、10-1/1、10-2/1：アース線は直接アース端子に接続します。

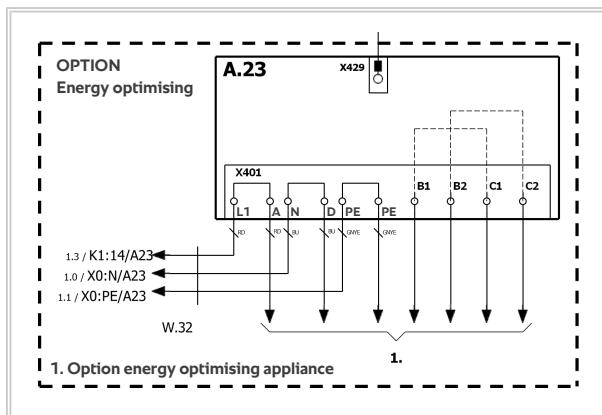
20-1/1 & 20-2/1：追加の保護接地端子を取り付けます。次に、追加の保護接地線を接続します。

6. 個々のケーブル用にケーブルダクトを取り付けます。

7. 「サービスレベル → 基本設定」でエネルギー最適化を有効にします。

>> 改造の完了です。

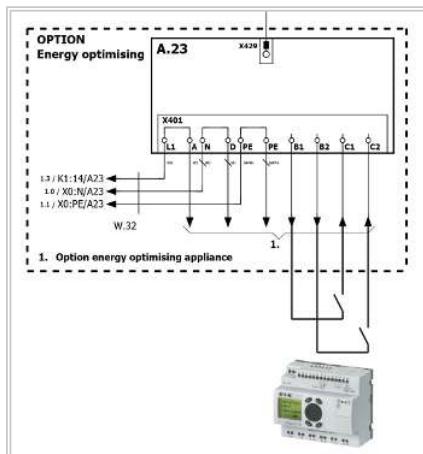
外部のエネルギー最適化システムへの接続



ユニットの加熱出力の要件	B1の要件	B2の要件
0 %	0 V	0 V
50 %	230 V	0 V
100 %	230 V	230 V

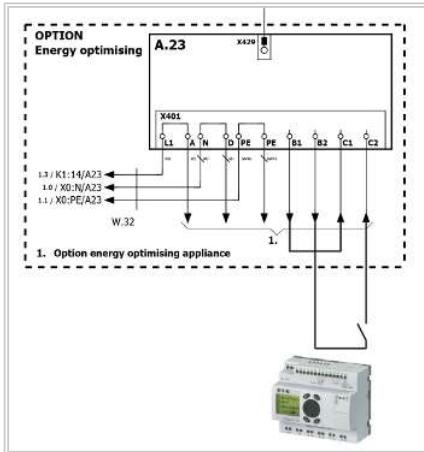
接続の可能性

- 最適化：0%または50%または100%



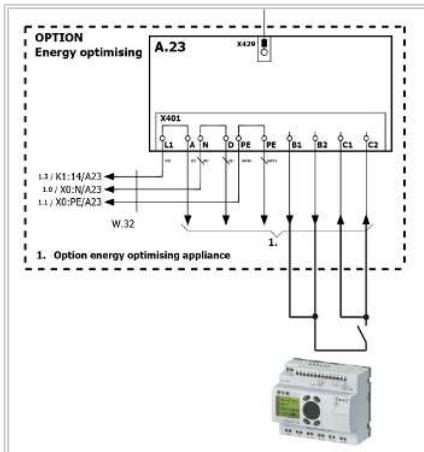
エネルギー最適化装置によって許可される加熱出力	C1へのフィードバック	C2へのフィードバック
0 %	0 V	0 V
50 %	230 V	0 V
100 %	230 V	230 V

■ 最適化：50%または100%



エネルギー最適化装置によって許可される加熱出力	C1へのフィードバック	C2へのフィードバック
50 %	230 V	0 V
100 %	230 V	230 V

■ 最適化：0 %または100%



エネルギー最適化装置によって許可される加熱出力	C1へのフィードバック	C2へのフィードバック
0 %	0 V	0 V
100 %	230 V	230 V

注記

常に理想的な仕上がりを達成するために、加熱装置を1分間に10秒以上低下させないでください。

